

# 子宮動脈塞栓術を受けられる

説明医師

様へ

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる		○下腹部痛が緩和し、苦痛が最小限となる ○むかつき、発熱に伴う苦痛が最小限となる ○副作用が早期に対処され硬膜外麻酔による痛みのコントロールが図れる		○退院後の生活上の注意点が理解できる
検査	身長体重を測ります			採血と尿の検査があります  	
食事	水分制限はありません 食品アレルギーは申し出てください 処置の時間によって昼食まで絶食の場合があります	治療が終わるまで絶食です <b>(午後治療の場合は昼食まで絶食)</b> 水分制限はありません 治療後指示があれば食事開始です			採血と診察の結果問題なければ朝食後退院となります
	 	 	 	 	  
処置・観察	体温・脈拍・血圧を測定します   リストバンドを装着します (退院日まで装着します) 入院後、手術室で痛み止めのチューブを挿入します	病室で尿の管を挿入します   朝7時頃に浣腸を行います   足の血液循環の確認のため足の甲にマジックで印をつけます	術後は体温・脈拍・血圧を頻回に測定します 	歩行できれば尿の管を抜きます 	硬膜外チューブを抜きます 創の状態を確認します 退院時にリストバンドを外します 
	注射・内服	常用薬のある方は看護師に申し出てください   就寝前に眠剤を服用します  治療開始時間が午前の場合点滴用の針を挿入します	手術前に点滴を行います   午後治療の場合、点滴の針を挿入します	治療後の点滴があります   <b>*痛み・むかつきなどがあれば看護師に申し出てください</b>	点滴が眠前まであります  
行動	制限ありません   弾性ストッキングのサイズを合わせます  入浴は、前日もしくは入院前に自宅で済ませててください  手足のマニキュアやネイルアートははずしてきてください	検査着は当日にお渡しします  洗面後、検査着に着替えてください  弾性ストッキングをはいてください 	ベッド上で足を伸ばした姿勢で2時間絶対安静にします   その後医師の指示があれば、ベッドにもたれた状態で座ることができます 	足の付け根の創を確認します   座ることができます   しびれの程度により歩行できます   全身を清拭します 	歩行できます   硬膜外チューブが抜け、発熱がなければシャワーができます   入浴は次回受診までできません
	説明	医師より説明 手術と治療計画について   麻酔科医師より説明 麻酔について   薬剤師より説明 お薬について   看護師より説明 入院生活について 			看護師より説明 早期離床について 

13-D25-4

2019.10.3版

京都第一赤十字病院

\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。